



Sony Computer Entertainment Inc.

2005年6月24日

UMD™「ユニバーサル・メディア・ディスク」 国際標準化機関Ecma Internationalで標準規格承認

本年6月21日、オランダ・アムステルダムで開催された国際標準化機関Ecma International（エクマ・インターナショナル）の総会において、UMD™「ユニバーサル・メディア・ディスク」が標準規格として承認されました。

Ecmaは光ディスクの国際標準化に長い歴史を持つ、スイス・ジュネーブに本拠を置く国際標準化機関です。このたびUMD™の物理フォーマット※が規格番号ECMA-365の光ディスク規格として承認されました。今後本規格は国際的な公的標準化機関ISO/IECの合同技術委員会（JTC1）が認める迅速手続き（fast-track procedure）に基づいてJTC1に提出され、ISO/IEC会員各国により国際標準化に向けた審議が行われます。

UMD™はソニーグループが提案する、直径60ミリで最大1.8GB（ギガバイト）の大容量を持つ汎用の光ディスクです。UMD™には物理フォーマット上に複数の用途別論理フォーマット※があり、PSP®「プレイステーション・ポータブル」に採用されたPSP®Gameソフトウェアについては既に日本・北米・アジア地域で延べ90タイトル以上がリリースされています。また、映画や音楽映像などを収録したUMD™Videoソフトウェアについても多数のタイトルが発売されています。

ソニーグループは今回のECMA-365の標準規格承認を契機として、今後UMD™の更なる可能性を提案してまいります。

※物理フォーマット・論理フォーマット=物理フォーマットはディスクの形状や厚み、信号記録方法などを定めたもの。論理フォーマットは同じ物理フォーマットの上でディスクの用途などに合わせて映像・音声信号の種類や著作権保護技術などを定めたもの。今回のECMA-365では物理フォーマットが標準規格として承認された。

以 上